

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	放送映画リテラシーD 2	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	馬場定雄			実務経験の有無・職種	有・映像制作の演出		
学習目的							
映像技術が目まぐるしく変化する現代に映画・テレビ・ネット配信にとどまらない色々な映像機器の種類を学び今後の5 G時代に向けて映像作品を制作する上での基礎技術力を取得。							
到達目標							
これまで学習して来た映像技術をさらに一段階あげ最新の映像制作における映像技術の知識や様々な製作プロセスを理解し総合的な技術力の総仕上げとする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、現代までの映像技術から最新の技術までのハードウェア及びソフトウェアの知識を学びその知識を元に想像力・発想力を膨らませ最終的には個々の技術力の向上を伸ばすことが目的である。						
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。社会の桃子公に注意し自分でも、情報を収集、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト						
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)						
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	CPRM+VR方式について			身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われているコピー制御方式や録画方式を知る			
2回	DVDとブルーレイディスクについて			身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われている技術やシステムの違いを理解する			
3回	モニターの種類(1)CRTと液晶テレビ			普段目にしているテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する①			
4回	モニターの種類(2)プラズマと有機EL			普段目にしているテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する②			
5回	ENGとENG機材の進化について			ENGで使用されてきたカメラやVTRの種類を歴史的観点から見てENG機材の技術の進化を理解する			
6回	SONY新商品内見会について			毎年6月に行なわれるSONY新商品内見会を分かりやすく解説して最新技術を理解する			
7回	FPUとSNGの伝送システムについて			中継システムのFPUとSNGの特徴と違いを理解する。またモバイル通信やライブ配信も理解する			
8回	映像コネクタの種類について			RCA、S端子、BNC、HDMIなど放送局や家庭用で使われている映像コネクタの種類を理解する			
9回	映像ケーブルの種類について			一般的に使用されている同軸ケーブルの種類や構造を理解する			
10回	映像信号の種類(1)コンポジット			映像信号のアナログコンポジットの特徴や構造を理解する			
11回	映像信号の種類(2)コンポーネント			映像信号のデジタルコンポーネントの特徴や構造を理解する			
12回	映像信号の種類(3)デジタルとアナログ			現在の主流であるデジタル信号の解説とレコードを例としたアナログ信号の特徴と違いを理解する			
13回	映像信号の種類(4)コンポーネント4:2:2			現行の放送機器に最も多く使用されているコンポーネント4:2:2方式を理解する			
14回	映像信号の種類(5)RGB4:4:4			これからの放送機器に使用されるRGB4:4:4方式を理解する			
15回	後期まとめ復習			後期の内容まとめと復習			